

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもから声を上げた取り組みや、法人主催の多彩なイベントがあり、学童クラブにおける時間が楽しく実りのあるものになっています
	内容	夏季には子ども達から 水遊びとスイカ割り、ベーゴマ大会などをやりたいとの声が上がリ、子どもたちとそうだんを繰り返しながら催すことができました。また夏祭りでは屋台に加え「自分魅せ～やりたいことをやろう」をテーマにダンス披露やファッションショーを行い、大いに楽しみました。法人主催の外部講師によるイベントも多く、かがく遊び、ウッドプレートアレンジ、体操教室、折り紙、などのように、子どもが体験して楽しむのや、「生教育」のようにやさしく学べる児童向けの性教育として、身体の大切さを学べる機会の場も設けています。
2	タイトル	マニュアル・訓練・備蓄が連動した安心・安全を支える運営体制が構築されています
	内容	事業所では、集中豪雨や交通事故、不審者、感染症などの多様なリスクを想定し、防災・防犯・事故・感染防止に関する各種マニュアルを整備し、職員が常時確認できる体制を構築しています。自衛消防組織や防火対策表の作成、避難時の役割分担も明確化され、研修や掲示による周知も徹底されています。また、日々の自主検査票を活用した点検や、事業継続計画(BCP)の策定、備蓄品の管理、防災頭巾の準備、避難訓練、さくら連絡網による連絡訓練など、実効性を伴う多層的な取り組みが展開されており、突発的な事態にも対応できる環境が整えられています。
3	タイトル	多様な情報発信と関係機関との連携により地域とつながる開かれた運営が行われています
	内容	事業所では、透明性の確保と地域との良好な関係づくりを目的に、さくら通信網や広報誌、ブログ、ホームページなど複数の媒体を通じて日々の活動を積極的に発信しています。また、教育機関との連携として、小学校教員や看護学生の実習受け入れを行っているほか、高校生や地域住民によるボランティアなどの受け入れも行われています。さらに、年2回の運営委員会では民生委員や学校関係者、保護者代表、有識者らと情報を共有し、市の事務連絡会議や各種協議会を通じて地域福祉の動向を把握するなど、地域との実践的な連携体制が構築されています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	現場における判断基準と一定したサービス提供のために、マニュアルを活用してのPDCAサイクルの実施を期待します
	内容	子どもの主体性を重視し、様々な取り組みも子どもと職員が相談し合って実行しています。日々のミーティングや会議もていねいに実施し、子ども達と遊び込むことにも努力しています。が、現場では、様々な判断と一定したサービスが求められます。その考え方の根となるものがマニュアルとして明文化され、実施したうえで必要があれば改定され、更に良いものになっていくというPDCAサイクルは現場を強化していくうえにも必要と思われるます。危機管理や健康管理について、職員が皆、迷わずに判断し実行するためのマニュアルの作成と活用を期待します。
2	タイトル	キャリアパスを実効性ある育成制度として確立していくことが求められます
	内容	キャリアパス制度を導入し、人材育成に取り組む姿勢は示されていますが、制度が実質的に機能するまでには至っていません。学童クラブでは全職員が放課後児童指導員の資格を有し、主任手当やキャリアアップ手当の支給により役割に応じた処遇も行われています。しかし、キャリアパスと連動した階層別研修や育成の道筋が明確に示されておらず、職員が将来像を具体的に描きながら成長できる仕組みとしては不十分です。今後は、職位や経験段階に応じた体系的な研修制度を整備し、キャリアパスを実効性ある育成制度として確立していくことが求められます。
3	タイトル	成果に応じた評価制度の導入と処遇の連動による意欲向上が求められます
	内容	現行の処遇制度では、昇給が全職員一律で行われており、目標管理や個別評価の仕組みは整備されていません。形式上の平等性は確保されているものの、個々の努力や成果が処遇に反映されにくく、納得感やモチベーションの維持に課題が見受けられます。今後は、職員自身が目標を設定し、その達成状況を振り返る仕組みに加え、成果や貢献度に応じた適切な評価制度を導入することが求められます。処遇との連動により、評価の透明性と公平性が高まり、職員の成長意欲を支える基盤となるとともに、組織全体の活性化にもつながることが期待されます。